研究活動報告(10)

「瀬田・田上鳥瞰絵図」の完成報告

蔭山　歩

はじめに

2006年から2008年にかけて取り組んできた「瀬田・田上鳥瞰絵図」が、2008年12月に印刷物として完成した。制作から完成までの経緯を報告します。

目的

2006年、里山ORC研究スタッフの主な研究フィールドである龍谷大学瀬田キャンパス周辺に広がる瀬田・田上地域の歴史文化や、風景を顕在化し、場所への認識を共有するコミュニケーション・ツールとして、また、絵図を描く過程で、地域の情報収集をし、地域に潜在している魅力的な人材や風景の発掘を行うことを目的として制作をはじめました。

鳥瞰絵図とは

絵図の手法として、これまで制作経験のあった「鳥瞰絵図」を取り入れました。「鳥瞰絵図」とは、「鳥目絵」とも呼ばれ、鳥が空から地上を見下ろしたように、地形や地物を一目瞭然に理解することができるように描いた風景図または地図のことです。今回の絵図は、吉田初三郎の描き方を参考にしました。

吉田初三郎（1884～1955年）の鳥瞰図は、鳥の目と広角の魚眼レンズをミックスした多視点魚眼法によるもので、地域をダイナミックに立体的にとらえています。また、重要な場所は存在感を持たせるように徹底的に細部まで描きこみ、空間をデフォルメして表現するというユニークで魅力的な地図として、大正時代から昭和初期におこった観光ブームによって人気が高まり、日本中の名所絵図約1600点が描かれています。

制作経緯

まずはじめに瀬田、田上、瀬田丘陵（龍谷大学）など、地域のフィールドワーク（野外調査）を行い、地元地域の方への聞き取りを通して、祭礼行事や歴史、食文化などの文献資料、地域情報の収集を行いました。その情報を元に、地域から見える山の稜線や、風景をみながら地域の持つ方向感覚をとらえ、構図をおこします。構図を元に地域の詳細をつめ下書き作業を行います。その後、ペン入れ、彩色を行い原画を仕上げました。

制作において大切にしていることは、聞き取りの際に地域で大切にされている場所や風景、物語などにたくさん触れ、その時にしか描けないものとして意味を持つように描くことです。

また、今回は彩色にアクリル絵の具を使用することで、湖や、田上山脈、田上盆地の田園地帯などの風景が、透明感がありなおかつ自然の色が持つ重層性を出すように努めました。

そして、見ていただく楽しみになるように地域の伝説や歴史にまつわる隠し絵を描きこむなどの工夫をしました。

2007年12月に開催された里山ORC主催シンポジウム「瀬田山会議―大津の里山の過去と未来」では、絵図の制作についての口頭発表、また会場前ロビーに絵図の原画展示を行いました。発表の中で、今後印刷物としてデザイン編集を進めることをお話ししたところ、瀬田・田上地域からの参加いただいた地元の方々に、たくさんのご意見やご感想をいただくことができ、印刷物へとつなげていくことができました。

印刷デザインとしては、この絵図を持って地域を散策してもらうために、ハンドタイプで持ち運びしやすく、手元で広げることができるジャバラ折りの形態にしました。

鳥瞰絵図には、地域の地名などの情報は極力少なくし、絵図を読み込んでいただくようにしました。反対に、鳥瞰絵図の裏面には、瀬田・田上・「龍谷の森」の特徴ある歴史や食文化、伝統行事などのイラスト付き情報、平面地図、地域の今昔を読み取れる1947年と2000年の航空写真を掲載しました。このことによって、さらに多角的に地域の情報を知ることができる地図に仕上がりました。（カラーページpp.25～26参照）

完成した地図は、2008年12月に開催された里山ORC主催国際シンポジウムにて、来場者の方へ配布され、お披露目することができました。

反響の声

手にとっていただいた方々からは地図で描けていない部分についてのご指摘もありましたが、概ね好評の声をいただきました。

龍谷大学の学生からは、周辺地域に出かけたことがなかったが興味をもったという声や、地図を持って地域を歩いてみたいといった大学周辺地域への関心を持つ機会となった、また、一般の方々からは、地域の取り組みで活用したいという声や、地元の活性化への役立つとの声など、地域の再認識を持つツールとして利用価値があるとの意見を聞きました。また、瀬田・田上の地域の連携の歴史や、南大萱におけるため池の歴史、田上における大戸川の氾濫などの自然災害の歴史など、地域の歴史的事実や、そこに生まれる感情を伝える声も多数聞くことができました。

このように絵図をとおして、地域の歴史・文化の知識や記憶を共有する機会をつくることができ、子供からお年寄りみんなでみることができるため、さまざまな意見を聞き取りする際に活用したり、地元地域と大学との連携に役立てていける作品を制作することができました。

付記

「瀬田・田上鳥瞰絵図」の制作、デザイン編集にあたって、南大萱資料室、上田上牧町東郷正文さんをはじめ地元地域の方々よりご協力いただきました。また、丸山徳次先生をはじめ多くの方々に、助言・サポートいただきました。記して感謝申し上げます。